

CIRJE Newsletter

東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターニュースレター

No.11

2009年3月

Center for
International Research
on the Japanese Economy
Faculty of Economics
University of Tokyo
(CIRJE)

UNIVERSITY OF TOKYO LONDON SCHOOL OF ECONOMICS CONFERENCE ON ECONOMIC GEOGRAPHY IN HISTORICAL PERSPECTIVES

2009年1月7日

東京大学大学院経済学研究科教授 岡崎 哲二



2009年1月7日、東京大学経済学部において、“Economic Geography in Historical Perspectives”というテーマでコンファレンスを開催した。本コンファレンスは、2006年12月から、毎年、東京大学経済学部と London School of Economics (LSE) の経済史学部の共催で行っている経済史コンファレンスの一環である。今回は、東京大学の経済学高度インターナショナルプログラムの支援を受けて、LSE から3名の研究者を招聘した。日本側では東京大学以外からも、東京理科大学、東北大学、アジア経済研究所の研究者が参加した。発表と討論者は次の通りである。

■ Peter Howlett (LSE)

“Barro and Sala-i-Martin Revisited: Post-war Regional Convergence through a Distribution Dynamics Lens” (Discussant: Takashi Kano)

■ Julen Esteban-Pretel (University of Tokyo)

“On the Role of Policy Interventions in Structural Change and Economic Development: The Case of Post-war Japan” (Discussant: Masaki Nakabayashi)

■ Kaori Ito (Tokyo University of Science)

“An Information Theoretic Approach to Identify Spatial Patterns of Industrial Agglomerations (Discussant: Tomohiro Machikita)

■ Max Schulze (LSE)

“Backward and Remote?: GDP and Market Potential in the Regions of East-Central Europe, 1870-1910” (Discussant: Kentaro Nakajima)

■ Kentaro Nakajima (Tohoku University)

“Agglomeration or Selection?: The Case of the Japanese Silk Reeling Industry, 1896-1916” (Discussant: Janet Hunter)

空間経済学は1990年代以降、経済学において最も研究が進化した分野の一つであり、その影響は経済史分野にも及んでいる。本コンファレンスでは、ヨーロッパおよび日本における歴史経済地理研究の最近の成果を発表し、意見交換を行った。



CIRJE
Newsletter

目次

University of Tokyo
London School of Economics
Conference on Economic
Geography
in Historical Perspectives

■
コンファレンス

ワークショップ
マイクロワークショップ

■
新プログラム紹介
経済学
高度インターナショナル
プログラム

■
CIRJE
ディスカッション
ペーパーシリーズ

客員スタッフ

スタッフ

コンファレンス

http://www.e.u-tokyo.ac.jp/cirje/research/03research04conf_j.html

日本経済国際共同研究センター（CIRJE）は、国際的な学術会議を定期的に主催しており、海外の大学や研究機関と数多くの学術交流を行っている。

2008年度は、下記の5つの会議を主催・共催した。

- ・アジア・シャドー金融監督委員会（2008年7月4-5日）
- ・「日本の財政・金融政策の諸問題」（2008年10月21日）
- ・「グローバルな経済問題への理論的・実証的へ応用」（2008年11月14日）
- ・第42回公共政策セミナー「スウェーデン前財務大臣が語る福祉・成長両立モデル」（2008年11月17日）
- ・住宅政策研究会シンポジウム「日本の活性化における住宅産業の役割」（2008年11月25日）

特に、近年は、欧米の著名な研究者を招いた国際会議に加えて、アジアの主要大学との交流にも力を入れている。これは、日本とアジアの経済的結びつきの高まりを受けたもので、2008年7月にはアジア・シャドー金融監督委員会（Asian Shadow Financial Regulatory Committee、ASFRC）の東京会議をサポートした。

2008年度下半期は、2つの国際コンファレンスを、いずれも韓国ソウルで開催した。第1は、「日韓の財政・金融政策の諸問題（Fiscal and Monetary Policy Issues in Korea and Japan）」と題するコンファレンスで、2008年10月21日に韓国の高麗大学で行った。本コンファレンスは、韓国経済学会（Association of the Korean Economic Studies）との共催で、世界的な金融危機の中で日韓両国が直面する財政・金融の緊急課題を多角的に議論した。日本からは、井堀利宏（東京大学）、小塩隆士（神戸大学）、福田慎一（東京大学）の3名が参加し、日本の財政運営や社会保障、および近年の金融政策運営に関して報告が行われた。韓国との比較研究など、重要な政策的インプリケーションが提言された会議であっただけでなく、世界的に経済低迷が深刻となる中で、財政・金融の両分野で今後の日韓の共同研究のきっかけとなる有意義な会議であったといえる。

第2は、「グローバルな経済問題への理論的・実証的へ応用（Applications of Economic Theories and Empirics to Global Issues）」と題するコンファレンスで、2008年11月14日に韓国のソウル国立大学において行われた。CIRJEは、ソウル国立大学の経済研究所（Institute of Economic Research）と毎年、経済政策に関するコンファレンスを開催しており、本年が5回目となる。この交流会議では、これまでもミクロ計量分析、経済発展、都市経済など幅広いテーマで国際会議を開催してきた。本年は、グローバル化が進展している世界経済において、適切な制度設計やポリシーのあり方を中心に議論を行った。

CIRJEからは、石見徹、福田慎一、加納隆、藤本淳一、Julen Esteban-Preteの5名が参加し、報告・討論を行った。日韓が今日抱える経済問題を、短期的な観点ではなく、中長期的な観点から議論されるなど、活発な討論が展開され、貴重な学術交流が実現したといえる。今後も、CIRJEとソウル国立大学の経済研究所は、さらなる連携を深めていくことが会議の終わりに確認された。



アジア・シャドー
金融監督委員会
(2008年7月4-5日)



第42回公共政策セミナー
「スウェーデン前財務大臣が語る
福祉・成長両立モデル」
(2008年11月17日)



「日本の財政・金融政策の
諸問題」
(2008年10月21日)



住宅政策研究会シンポジウム
「日本の活性化における
住宅産業の役割」
(2008年11月25日)

「グローバルな経済問題へ
の理論的・実証的へ応用」
(2008年11月14日)

ワークショップ

http://www.e.u-tokyo.ac.jp/cirje/research/03research03ws_j.html

日本経済国際共同研究センターは東京大学大学院経済学研究科と密接な協力関係を保ち続けており、経済学研究科において定期的に行われている各種のワークショップを支援しています。

マイクロワークショップ



東京大学大学院経済学研究科教授 松島 斉

日本経済国際共同研究センター(CIRJE)は、経済学研究科において週一回をめぐり定期的に開催される「マイクロワークショップ」を支援しています。マイクロワークショップは、マイクロ経済学やゲーム理論に関連する経済理論一般、財・サービス市場、金融市場、労働市場、その他様々な研究対象への応用、計量的実証的マイクロ分析、実験経済学、経済制度の歴史分析、さらには経済学に関連する方法論や道徳哲学といった、広範囲から優れた研究成果を国内外問わず集め、

報告機会を提供しています。今年度のマイクロワークショップでは約45回の研究報告、および5日間にわたる修士論文報告が企画、実施されました。

マイクロワークショップの開催スケジュールは、CIRJE ホームページに掲載すると同時に、国内の主要大学・研究機関にも定期的に配布しています。通常、火曜午後4時50分から6時30分に経済学研究科棟第3教室で行われます。招待講演者の都合に合わせて適宜追加のセミナーが行われることもあります。詳

しくはホームページをご確認ください。本学教員や学生に限らず他機関の研究者もご参加いただけます。ご関心の方は是非ご参加ください。



新プログラム紹介

経済学高度国際プログラム UT International Program in Economics

<http://www.e.u-tokyo.ac.jp/utipe/>

東京大学大学院経済学研究科では、「経済学高度国際プログラム」を2010年度より開始することになった。英語を「研究教育上の母国語」とし、経済学での多様な分野において、国際的な先端性をもつ学問研究に従事する研究教育者、および高度な専門知識を国際的な視野のもとに実践的に駆使する人材を育成することを目的としている。CIRJEも、海外からのゲスト・スピーカーのお世話やセミナーの案内など、このプログラムを積極的にサポートしていく予定である。

日本経済を取り巻く世界の経済環境には大きな変化が見られる。グローバル化の進展に伴い、世界の貿易や資本移動は飛躍的に増大している。その

一方で、地域化(リージョナリゼーション)も進展している。このような世界経済の変化に対応して、これからのわが国の経済学の高等教育も、広く豊かな学識の養成を基盤として、世界に通用する最先端のレベルを英語で供給していく必要性がますます高まっている。

とくに、日本経済がアジア諸国との経済的・政治的結びつきが強くなってきていることを踏まえて、日本語が話せることを前提としないで、アジア地域から留学生を積極的に迎え、最先端の経済学教育を行うことはきわめて重要である。

1990年代には、「アジアの奇跡」と呼ばれた高度成長を達成した。この過程で、アジアの新興市場国・地域は、日本がかつてたどった工業化の歴史を、数十年遅

れで繰り返すような経済発展のパターンを実現した。しかしながら、1997年、タイに始まった通貨危機が半年の間に他のアジア諸国に波及して、「アジア通貨危機」がおきると、アジア新興市場国の金融面の脆弱性が指摘されるようになった。わが国の大学で、英語という世界の共通言語を使って、一方で世界標準の経済学を教育しながら、他方でアジアの視点に立った経済学教育を行うことは大きな意義がある。

CIRJE ディスカッションペーパーシリーズ

http://www.e.u-tokyo.ac.jp/cirje/research/03research02dp_j.html

日本経済国際共同研究センターでは2つのディスカッションペーパーシリーズ（Jシリーズ：日本語、Fシリーズ：外国語）を刊行しており、2008年はJシリーズ18件、Fシリーズ70件が刊行されました。発行されたディスカッションペーパーは国内外の大学・研究所等に送付される他、上記のホームページからダウンロードすることも可能です。

客員スタッフ

当センターの重要な役割の一つに海外からの研究者の受け入れと研究交流促進があります。国内外の優秀な研究者を幅広い分野からお迎えして研究活動を行っており、下記のリストはその一部です。

客員教授

西村和雄

2008年4月1日 - 2009年3月31日

京都大学経済研究所



■ William T. M. Dunsmuir (2008年11月16 - 25日)
Department of Statistics, School of Mathematics and Statistics,
University of New South Wales, Australia

■ Muni Shanker Srivastava (2008年12月1 - 10日)
Department of Statistics, University of Toronto, Canada

■ 青木正直 (2008年12月11 - 22日, 2009年1月8日 - 2月4日)
Department of Economics, University of California, Los Angeles, USA

■ Patrick Fridenson (2008年12月15 - 19日)
the Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales, France

■ Makoto Watanabe (2008年12月17 - 30日)
Department of Economics, Universidad Carlos III, Spain

■ John Brown (2009年1月20 - 30日)
Department of Economics, Clark University, USA

■ Minjung Park (2009年3月8 - 19日)
Department of Economics, University of Minnesota, USA

短期客員研究者

■ Ming-Tien Tsai (2008年10月24 - 31日)
Institute of Statistical Science, Academia Sinica, Taiwan

■ John Riew (2008年10月28 - 31日)
Department of Economics, Pennsylvania State University, USA

■ Xiwei Zhu (2008年11月11 - 15日)
College of Economics, Zhejiang University, China

スタッフ

専任スタッフ

センター長

福田慎一 (東京大学大学院経済学研究科教授)



運営委員会

運営委員長

神谷和也 (東京大学大学院経済学研究科教授)

教授

林 文夫 (東京大学大学院経済学研究科)

R. Anton Braun (東京大学大学院経済学研究科)



運営委員

新宅純二郎 (東京大学大学院経済学研究科准教授)

谷本雅之 (東京大学大学院経済学研究科教授)

田淵隆俊 (東京大学大学院経済学研究科教授)

准教授

澤田康幸 (東京大学大学院経済学研究科)



顧問

翁 邦雄 (中央大学大学院戦略経営研究科特任教授)

神田秀樹 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)

橋木俊詔 (同志社大学経済学部教授)

濱田宏一 (Tuntex Professor, Department of Economics, Yale University)

水口弘一 (経済同友会終身幹事)

CIRJE Newsletter No.11

2009年3月

東京大学大学院経済学研究科附属

日本経済国際共同研究センター

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

tel +81-3-5841-5644 fax +81-3-5841-8294

website: <http://www.e.u-tokyo.ac.jp/cirje/indexj.html>